

【ESD学習支援活動】

第4回奈良市中学校合同生徒会リーダー研修会 実施報告書

1. 目 的

- ◆ リーダー同士の交流を深め、より良い生徒会活動のためにどうすれば良いかを、共に考えよう。
- ◆ 学校には様々な思いを抱えたなかまがいることを理解し、誰もがお互いに協力することの大切さを学ぼう。
- ◆ 生徒会行事運営に向けてのスキルを高めよう。

2. 日 時 平成 29 年 8 月 18 日（金）10：00～16：00

3. 会 場 奈良教育大学 学生会館 1 階 山田ホール

4. 参加学生

修士 2 回生	糸 綾香	(英語教育専修)
学部 4 回生	谷垣 徹	(英語教育専修)
学部 3 回生	藤井愛華	(特別支援教育専修)
学部 2 回生	高田理生、香川真輝	(社会科教育専修)
学部 1 回生	下原 舞、櫛乃里花	(英語教育専修)
	種瀬史歩	(理科教育専修)
	奥平 茜	(国語教育専修)
	畑下さつき	(家庭科教育専修)

5. 参加生徒 春日（3）若草（7）都南（4）伏見（4）京西（3）平城（7）登美ヶ丘（5）

富雄南（5）二名（2）月ヶ瀬（2）富雄第三（2）飛鳥（2）三笠（9）

※（ ）内は参加生徒数。全 13 校 計 57 名参加

※各校引率教職員等 28 名参加

6. 活動概要

(1) 開講式

都南中学校の生徒により司会進行が行われた開講式。三笠中学校校長よりあいさつの後、同中学校より生徒代表のあいさつが執り行われた。続いて、奈良教育大学学長からのあいさつがあった。最後に本研修の意義、目的及び日程説明がなされた。（高田）

(2) 学校紹介・自己紹介

本研修会は今年で4回目を迎え、今回は奈良市内 13 校の中学校から生徒会本部役員 57 名が参加した。時間の関係上、学校名と当日の参加者の名前だけの紹介となったが、例年を超える参加者の数にこの研修会の発展が見られた。（谷垣）



アイスブレーキングの様子

(3) 奈良市子ども会議報告・ストップいじめなら子どもサミット報告

三笠中学校 3 年生の山村君から「奈良市子ども会議」の報告があった。今までの子ども会議とは一風違って、『いじめ』というテーマに絞って話し合い、子どもたちから奈良市長に提案すること、またいじめを実際に受けた方からの体験談を聞き感じたことを、奈良市内 13 校の生徒会本部役員に共有してくれた。奈良市教育委員会いじめ防止生徒指導課の担当者からは昨年度開催された「ストップいじめなら子どもサミット」の報告があった。今年度も実施予定であり、本研修会の参加者にもぜひ参加してほしいと呼びかけがあった。（下原）

(4) アイスブレーキング

6 人から 7 人のグループで活動することになり、どのグループも全て異なる中学校の生徒で

あった。そこで、緊張を和らげるために本学ユネスコクラブの谷垣と下原がアイスブレーキングのゲームを担当した。二つのゲームを通して会場が一体感に包まれ、雰囲気を和らげることができた。これらのアイスブレーキングにより、その後の班活動がスムーズに進んだ。(香川)

(5) 研修1「トラブル解決！ピア・メディエーション」

研修1では、最初に学生スタッフが見本として三つの事例のロールプレイを演じた。事例1はSNS上の誤解、事例2はクラス内の些細なやり取り、事例3は部活中の失敗がそれぞれいじめに発展する、という内容であった。その後10班にわかれ、各班三つの事例から一つを選び、いじめが起らないようにシナリオを書き換える作業を行った。シナリオ完成後、班内で役を割り振り各班が全員の前でロールプレイを行った。初めは緊張気味な雰囲気だったものの、いじめに発展した原因やどうすればよかったのかなどについて意見を出し合ううちに、徐々に打ち解けていたようだった。(櫓)



グループワークの様子

(6) 研修2「司会進行スキルUP講座」

三笠中学校の泉尾先生より、スムーズな司会進行についてのお話があった。司会する場面としては集会と会議という二つの場面があるが、今回は会議でスムーズな話し合いをするための司会についてだった。次に生徒たちが台本をもとに、まず意見の全く出てこなくなるような悪い会議、次に筋道が立っているため意見が出やすい会議の二つを実際に体験し、二つの会議の違いを、泉尾先生から学んだ司会をするのに大切な五つのポイントをもとに考えた。(種瀬)

(7) 研修3「模擬会議」

研修3では、研修2を踏まえた実践の場として、各班で『修学旅行の行き先について』『海外からの転校生との親睦を深めるために』『学校生活での問題点について』の三つのテーマの中から一つを選び、模擬会議を行った。各班では、進行役を務めた生徒が、話し合いの目的を明確にしながら、見通しを持って会議を進めたことで、短時間であったにも関わらず、具体的で説得力のある企画発表をどの班も完成させることができた。また、班員全員が意見を言いやすい雰囲気を作り出しており、初対面だとは思えないほど活発な会議がどの班でも行えていた。この話し合いのスキルを各校に持ち帰り、実践してもらいたい。(藤井)



グループ会議後の発表の様子

(8) 閉講式

最後の挨拶で、富雄南中学校の田中さんは、いじめを許さない学校作りで大切にしたいことを、昨年度行われた「ストップいじめなら子どもサミット」の経験も含めて話してくれていた。その言葉を他の生徒たちも真剣な顔で聞いており、子どもたちの意欲を感じることができた。また春日中学校の榎本校長先生は、「3つのわ」(輪・和・話)について話してくれた。これからは、この「3つのわ」を心がけて学校生活を送ってもらいたい。ユネスコクラブの学生を代表して谷垣から、過去3年にわたって開催されてきた本研修会への思い、ここで出会った仲間と学校を超えてこれからも繋がってほしいという思いを伝えていた。(畑下)